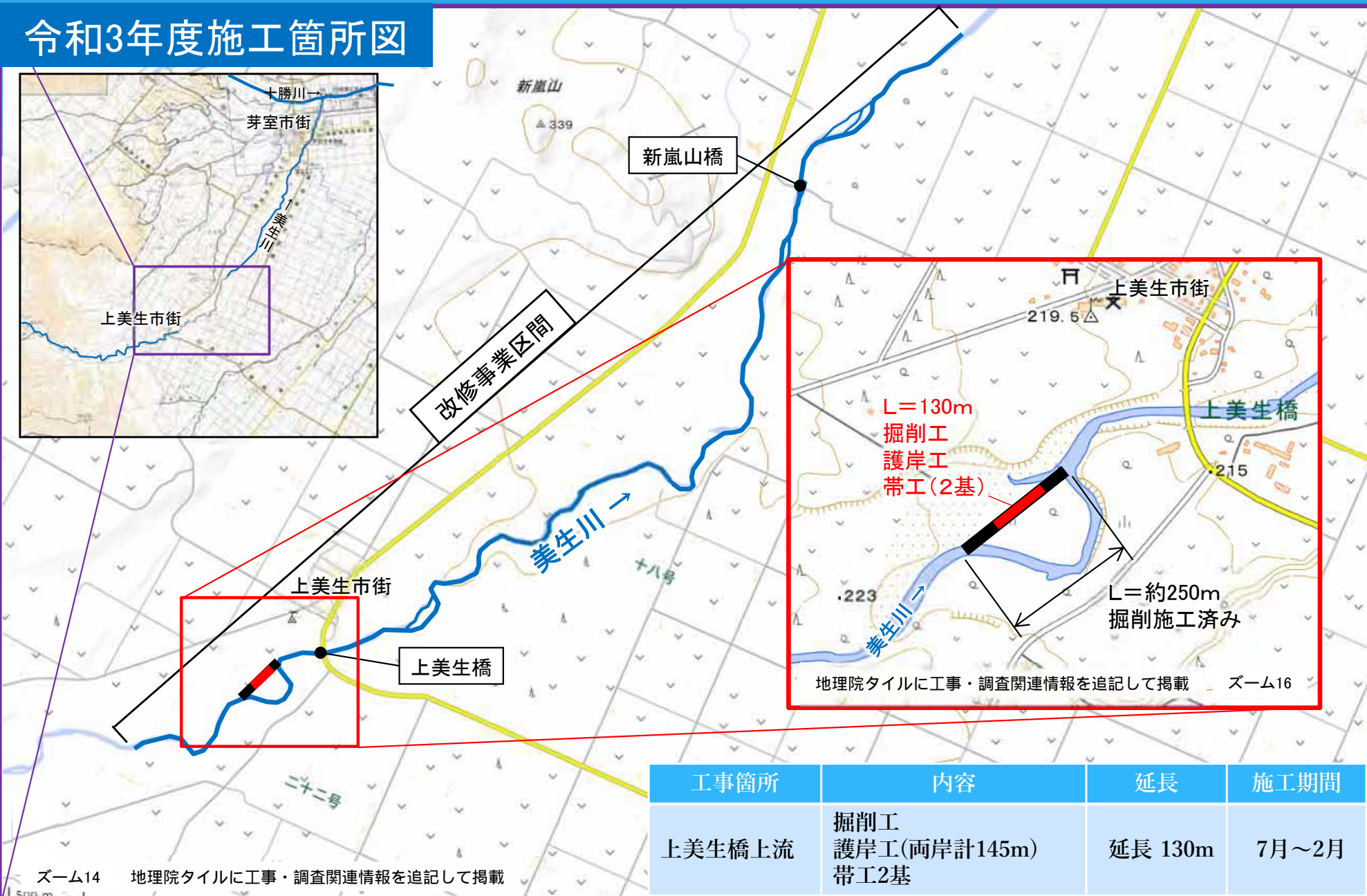


3. 美生川改修工事

令和3年度施工箇所図

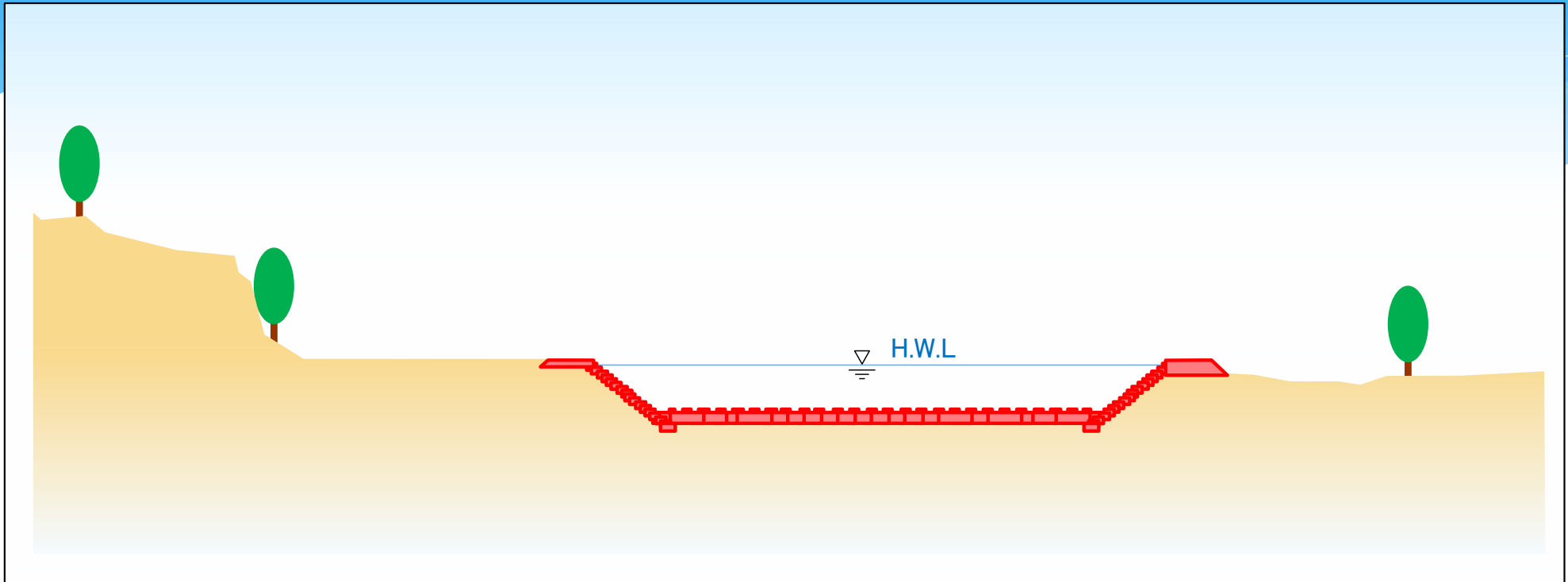


| 工事箇所 | 内容 | 延長 | 施工期間 |
|--------|-----------------------------|---------|-------|
| 上美生橋上流 | 掘削工 護岸工(兩岸計145m) 帯工2基 | 延長 130m | 7月~2月 |

ズーム14 地理院タイルに工事・調査関連情報を追記して掲載

3. 美生川改修工事

上流から見た横断イメージ



※ H.W.L : 計画高水位(河川改修後に川を流れる流量である「計画高水流量」が、改修後の河道断面を流れるときの水位)

環境配慮事項

- * 重要種植物（樹木）の生育が多いが、河道の掘削には支障がないため、法面、法肩等に生育しているものについては伐採をせず、希少種の保全に努め、環境に配慮しています。



上美生橋上流 施工予定箇所状況 (R3.8.12)

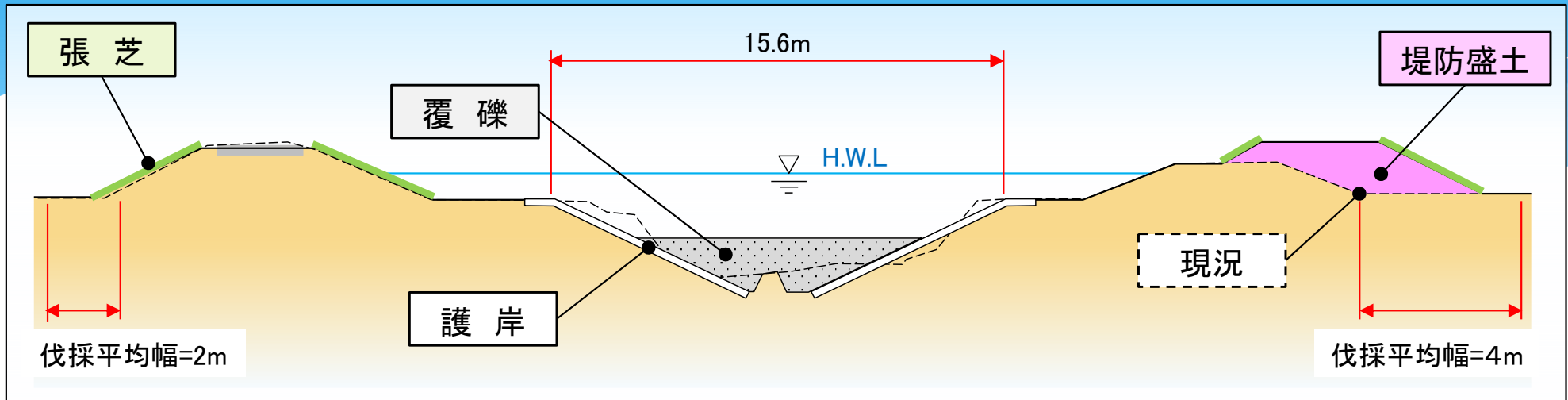
4. ピウカ川改修工事

令和3年度施工箇所図



4. ピウカ川改修工事

下流区間の横断計画



※ H.W.L : 計画高水位 (河川改修後に川を流れる流量である「計画高水流量」が、改修後の河道断面を流れるときの水位)

環境対策概要

| | 内容 |
|-----------|---|
| 河道内環境について | <ul style="list-style-type: none"> 河床部に覆礫し、魚類等の生息環境に配慮します。 一定の勾配 (傾斜) の河川として、魚類等が遡上しやすくします。 |
| 重要種植物について | <ul style="list-style-type: none"> 移植可能なものは移植します。 |
| 濁水対策について | <ul style="list-style-type: none"> 土のうで締め切り、その中で作業を行い、濁水を流出させないようにします。 |

4. ピウカ川改修工事



八丁目橋下流 施工予定箇所状況(R3.8.11)

4. ピウカ川改修工事

ウチダザリガニの確認(令和元年度)

| | 環境調査結果 |
|--------------|---------|
| 底生動物(特定外来生物) | ウチダザリガニ |

青字の生物種名: 特定外来生物

- * 調査での確認箇所ではR1年10月に確認会を行い、鏡委員会のご参加をいただきました。



現地確認の様子



ウチダザリガニを捕獲する鏡委員



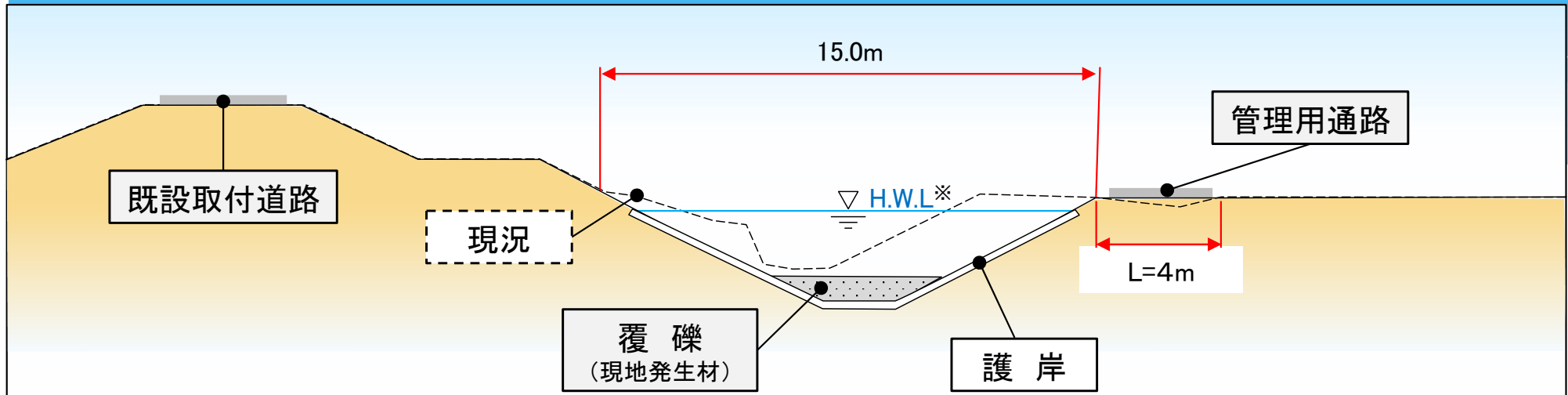
確認されたウチダザリガニ

鏡委員のコメント

- * ウチダザリガニは比較的流速が大きくても遡上する。このものは、十勝川本流から遡上したものであろう。特に今回の施工による影響はないものと考えられる。

4. ピウカ川改修工事

上流区間の横断計画



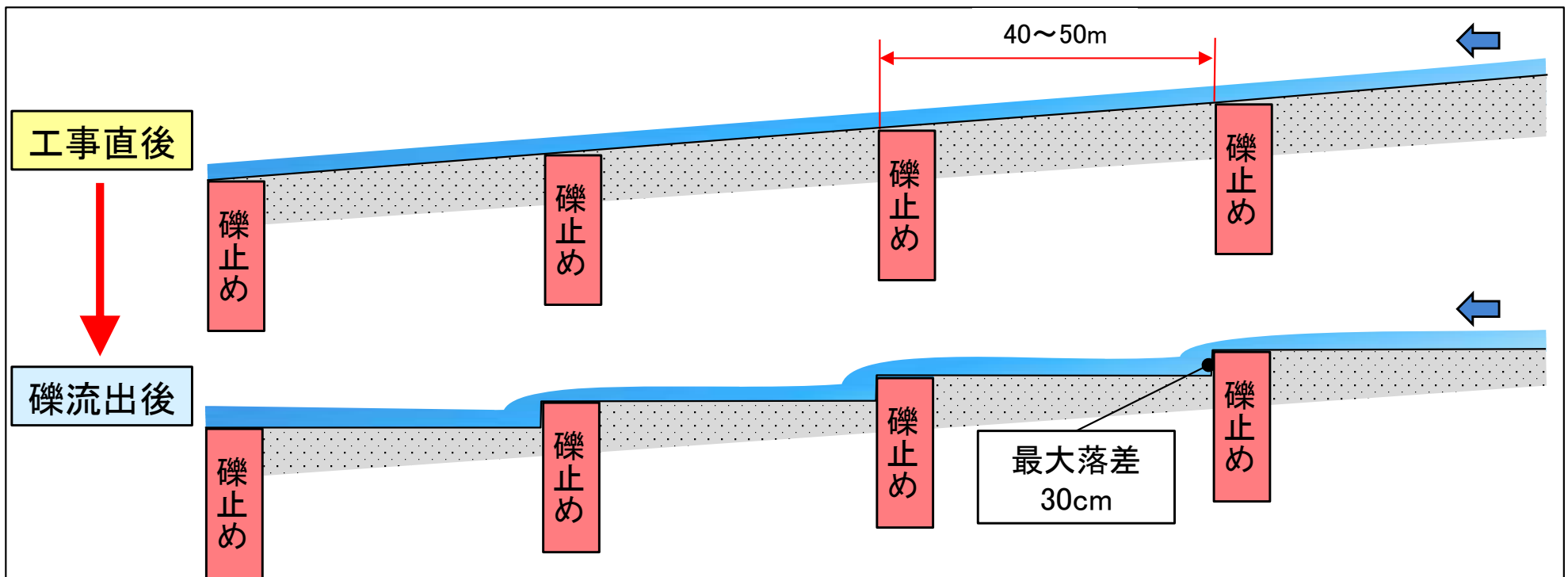
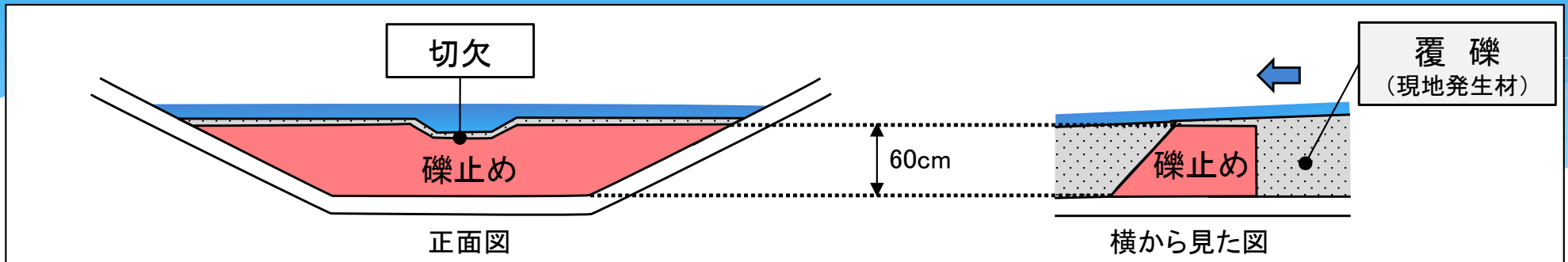
※ H.W.L. : 計画高水位(河川改修後の想定最大流量である「計画高水流量」が、改修後の河道断面を流れるときの水位)

環境対策概要

| | 内容 |
|-----------|---|
| 河道内環境について | <ul style="list-style-type: none">河床部に覆礫し、魚類等の生息環境に配慮します。また浚山層の表出を防止します(2ページ後を参照)。覆礫の流出を抑制するために、礫止めを一定間隔で配置します(次ページ)。一定の勾配(傾斜)の河川として、魚類等が遡上しやすくします。 |
| 重要種植物について | <ul style="list-style-type: none">移植可能なものは移植します。 |
| 濁水対策について | <ul style="list-style-type: none">土のうで締め切り、その中で作業を行い、濁水を流出させないようにします。 |

4. ピウカ川改修工事

覆礫の流出抑制方法(礫止め)のイメージ

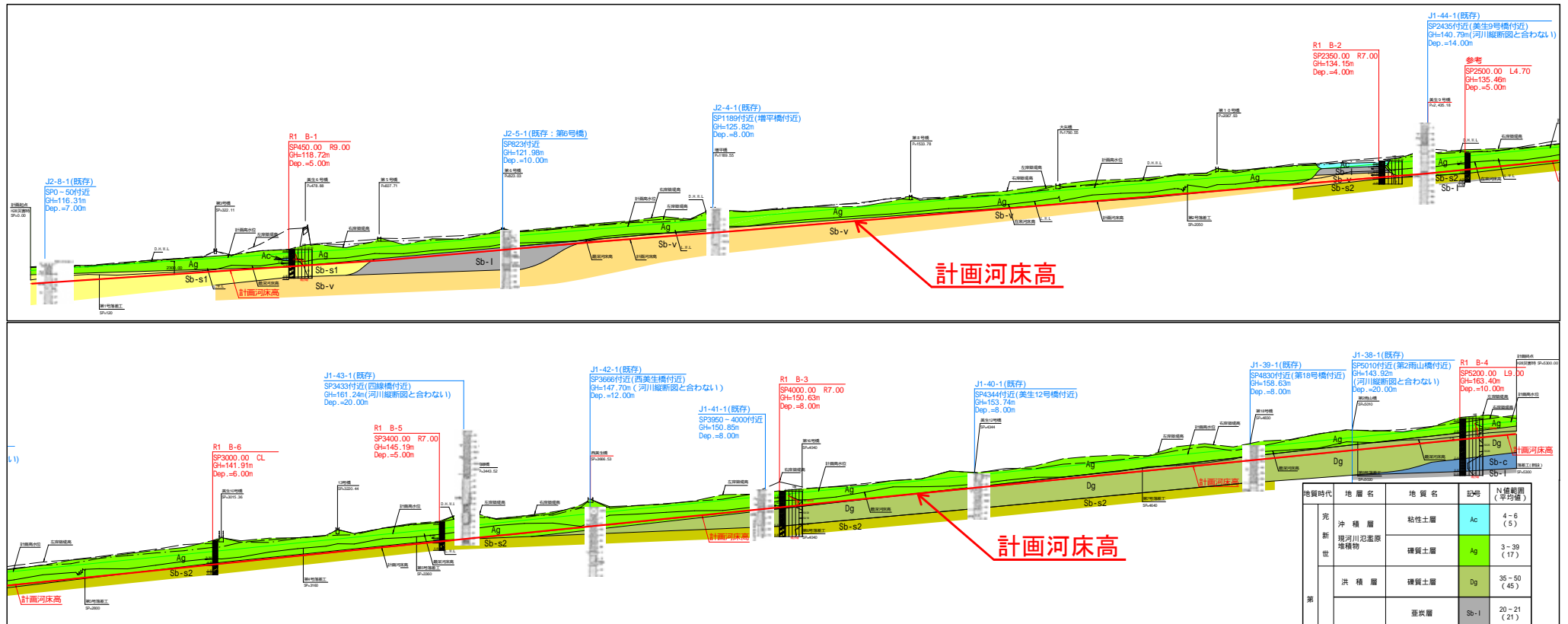


* 礫止め間隔を40~50mにすることで落差を30cm以下に抑え、魚類が遡上しやすくします。

4. ピウカ川改修事業

河床の地質に関して

* 掘削により洪山層が現れる場合に備え、川底を礫で覆います。



地質縦断図

洪山層

| 地質時代 | 地層名 | 地質名 | 記号 | N値範囲 (平均値) |
|-------|-----------|-------|------------|------------|
| 完新世 | 沖積層 | 粘性土層 | Ac | 4-6 (5) |
| | 境河川氾濫原堆積物 | 礫質土層 | Ag | 3-39 (17) |
| 第四紀新世 | 洪積層 | 礫質土層 | Dg | 36-50 (45) |
| | 洪山層 | 垂灰層 | Sb-l | 20-21 (21) |
| | | 粘性土層 | Sb-c | 6 (6) |
| | | 砂質土層1 | Sb-s1 | 32 (32) |
| | | 火山灰層 | Sb-v | 26-39 (33) |
| | 砂質土層2 | Sb-s2 | 25-33 (29) | |

平均値: N値50以上は50を上限として平均値を算出。
 補正N値を含む
 Ag層はN値のばらつきが大きいので標準偏差を考慮して平均値を算出。

5. サラベツ川改修工事

計画区間



地理院タイルに工事・調査関連情報を追記して掲載

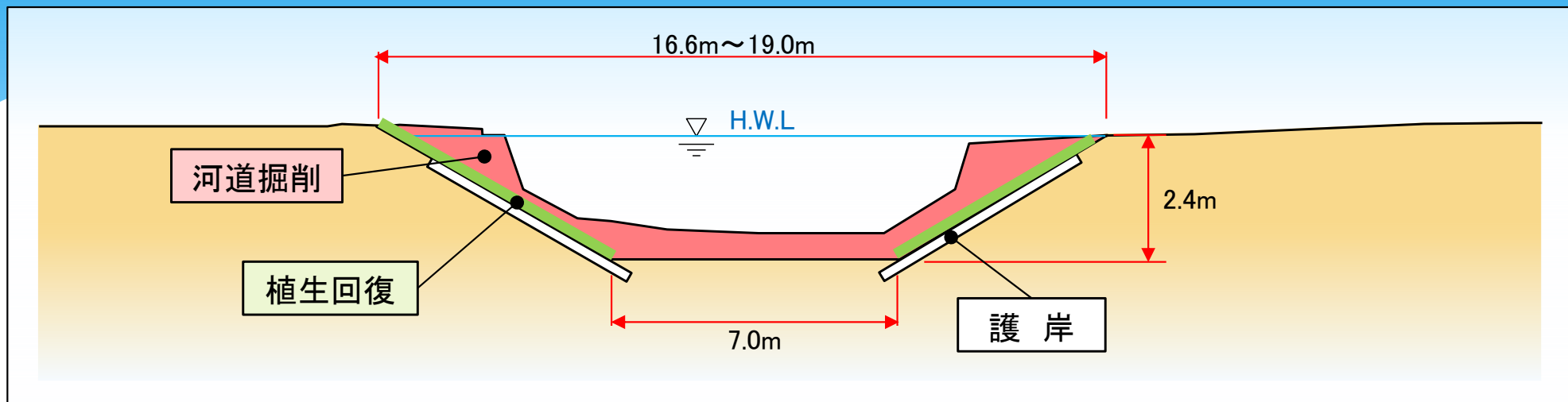
ズーム16

地理院タイルに工事・調査関連情報を追記して掲載

ズーム12

5. サラベツ川改修工事

横断計画



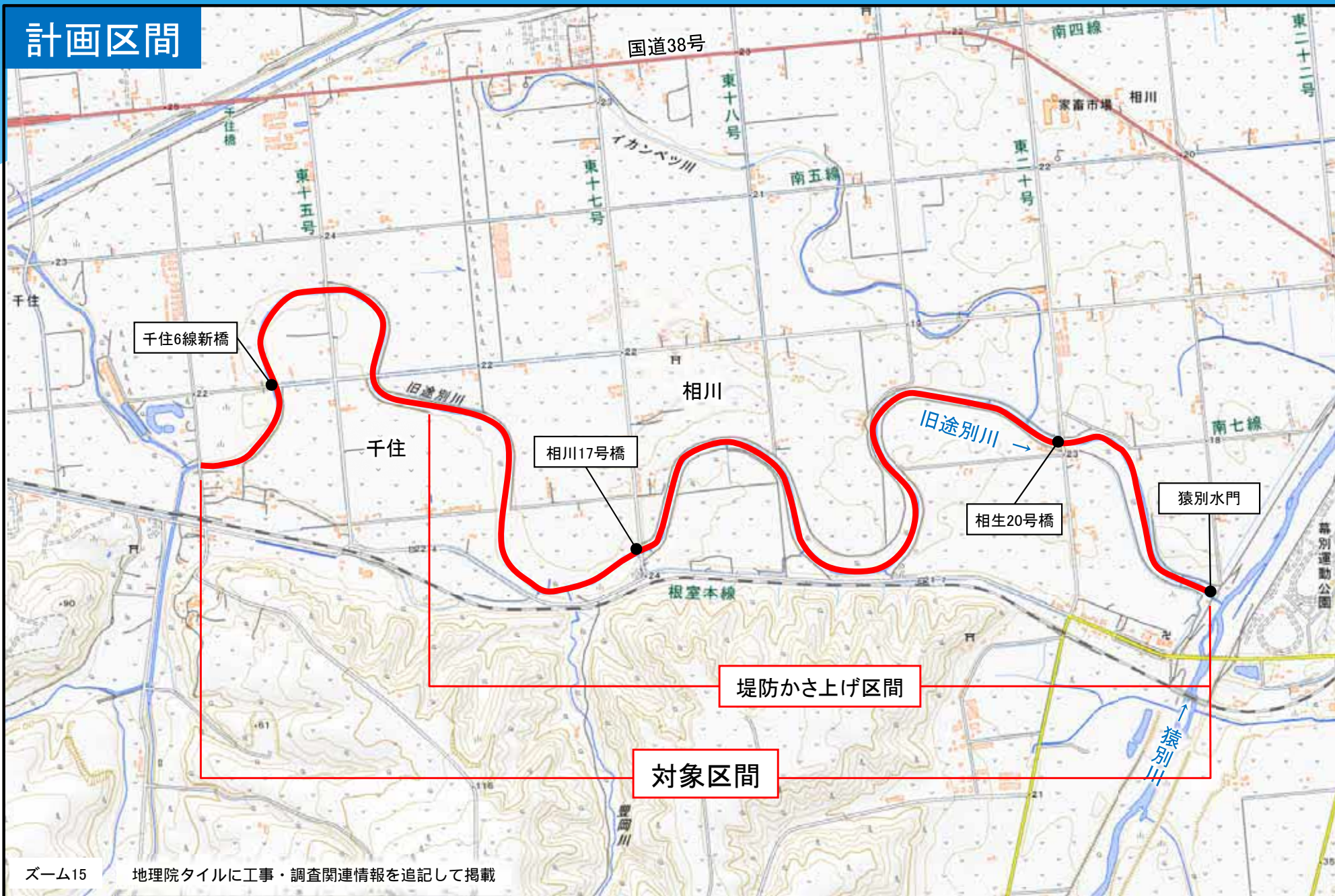
※ H.W.L : 計画高水位 (河川改修後に川を流れる流量である「計画高水流量」が、改修後の河道断面を流れるときの水位)

令和3年度予定

| | 内容 |
|----------|--|
| 工事 | 予定ありません。国道橋の架替工事について国（北海道開発局）との協議を進めている段階です。（国道橋R4設計、R5～6工事予定） |
| 環境調査 | 予定ありません。 |
| その他調査・測量 | 地質調査、地形測量 |
| 設計 | 落差工設計、護岸設計、橋梁設計、排水工設計 |

6. 旧途別川改修工事

計画区間

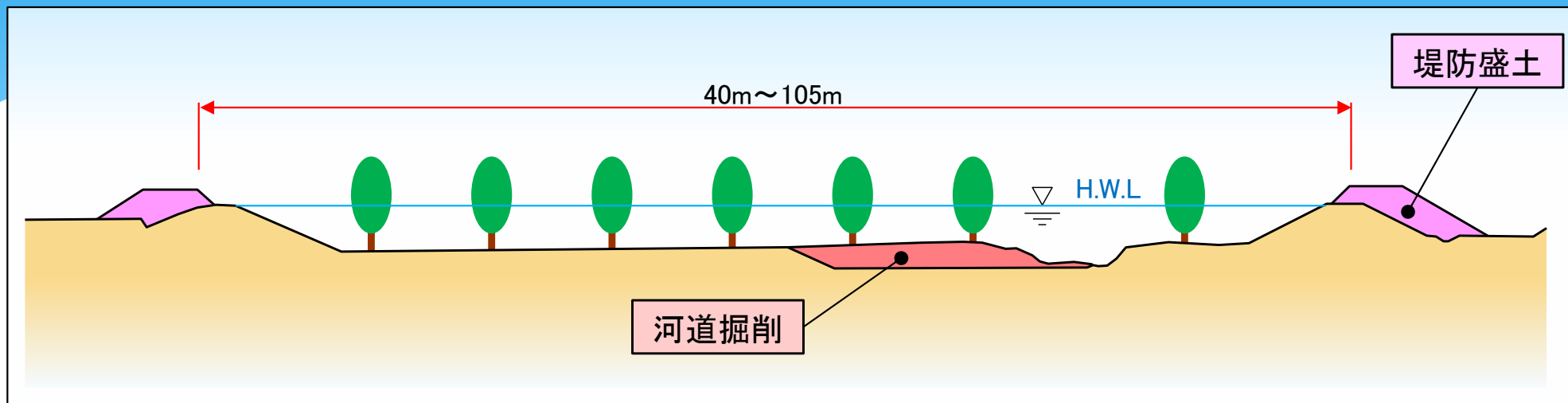


ズーム15

地理院タイルに工事・調査関連情報を追記して掲載

6. 旧途別川改修工事

横断計画



※ H.W.L : 計画高水位(河川改修後に川を流れる流量である「計画高水流量」が、改修後の河道断面を流れるときの水位)

令和3年度予定

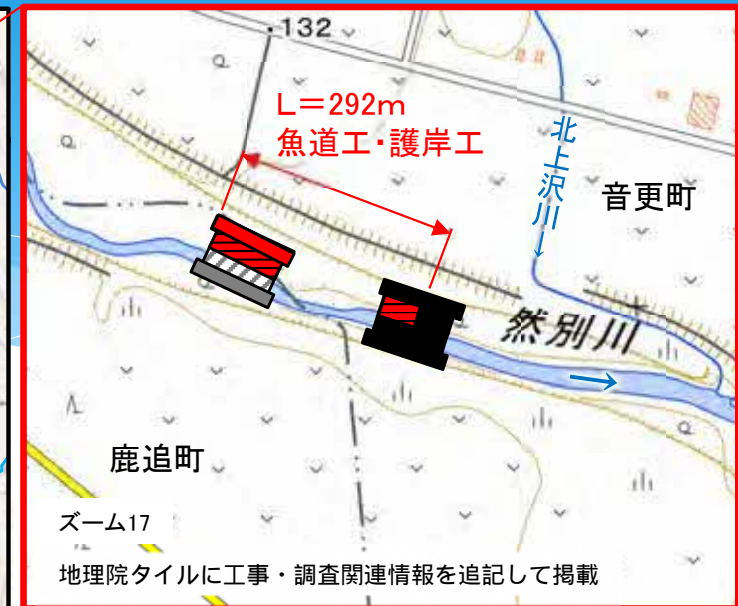
| | 内容 |
|--------|-----------------------------------|
| 工事 | 予定ありません。令和5年度から着手する予定です。(～令和10年度) |
| 環境調査 | 予定ありません。 |
| その他調査等 | 地質調査、地質解析 |
| 設計 | 樋門設計、橋梁設計 |

7. 渋山川、居辺川河川区間

| | 工事・調査・設計 | 今後の事業予定 |
|---------|-------------|---|
| 渋山川 | 令和3年度には予定なし | <ul style="list-style-type: none">基本的に令和4年度以降 (予算がついたら対応) |
| 居辺川河川区間 | 令和3年度には予定なし | <ul style="list-style-type: none">基本的に令和4年度以降 (予算がついたら対応) |

8. 然別川総合流域防災工事：魚道工(23号帯工)

令和3年度施工箇所図

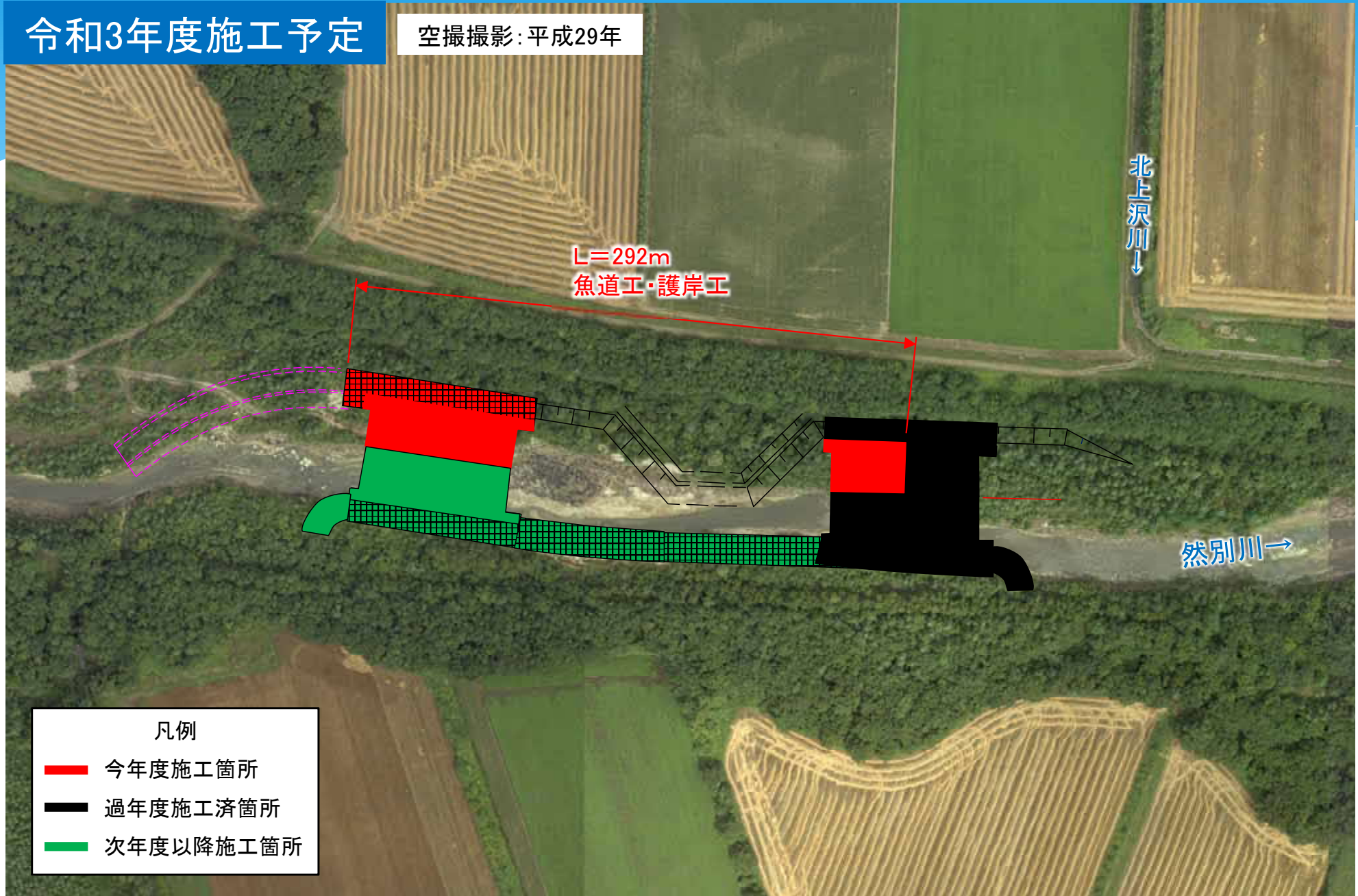


| | |
|------|--------------------------------------|
| 工事箇所 | 北上沢川合流点上流 音更町南中音更南1線 鹿追町上然別西9線 |
| 内容 | 下流側：魚道工 上流側：魚道工、護岸工 |
| 延長 | 全体延長 = 292m |
| 施工期間 | 7月～3月 |

8. 然別川総合流域防災工事：魚道工(23号帯工)

令和3年度施工予定

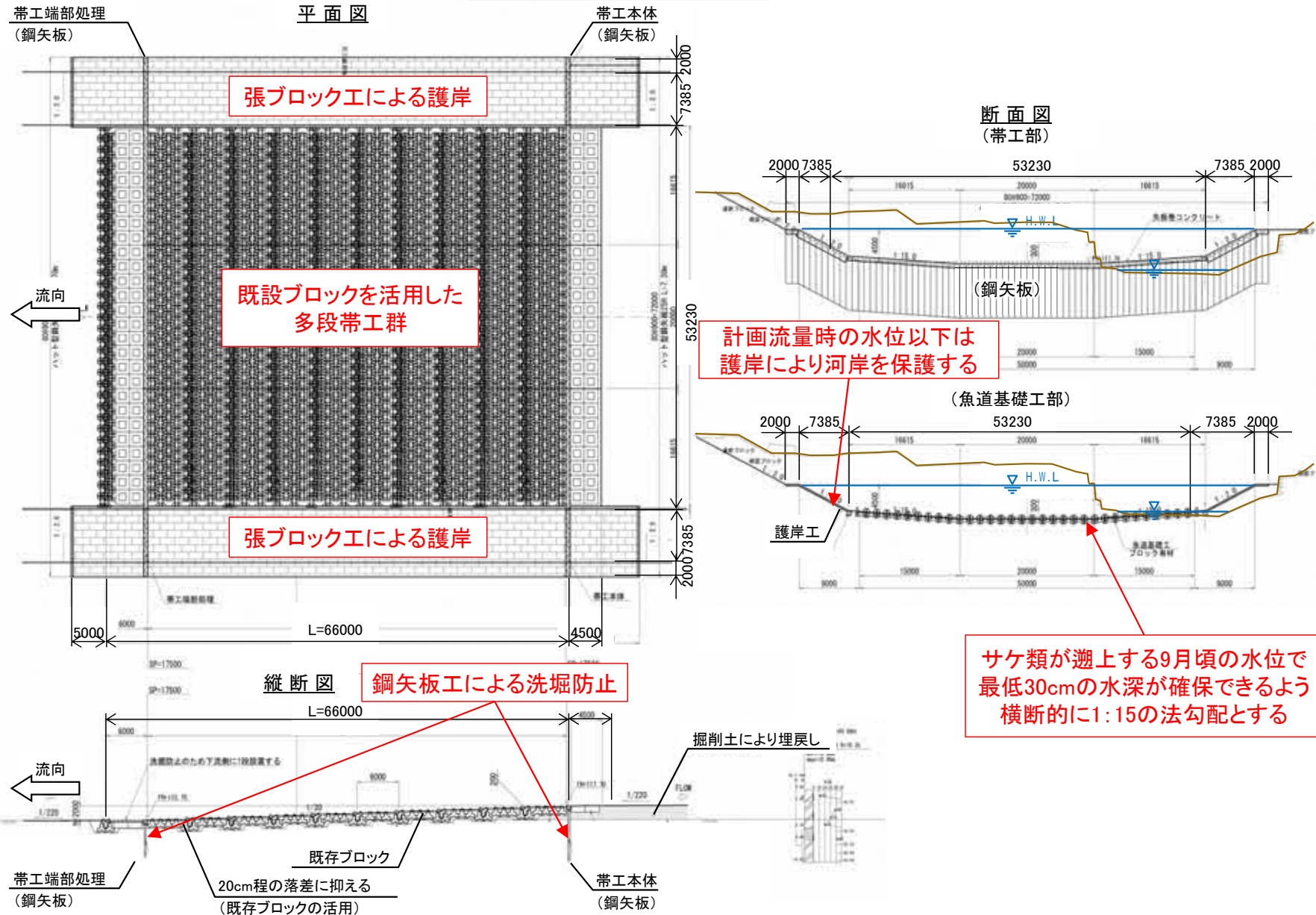
空撮撮影：平成29年



8. 然別川総合流域防災工事：魚道工(23号帯工)

魚道工の構造

魚道(帯工)一般図より



サケ類が遡上する9月頃の水位で最低30cmの水深が確保できるように横断的に1:15の法勾配とする

8. 然別川総合流域防災工事：魚道工(23号帯工)



施工予定箇所(□)(R3.3.20)



上流側 施工予定箇所状況(R3.8.11)

8. 然別川総合流域防災工事：魚道工(23号帯工)

令和3年度 調査等予定

| | 内容 |
|------|------------------------------------|
| 設計 | 19号帯工詳細設計（誉橋～風雲橋、瓜幕川合流点付近）（下位置図） |
| 環境調査 | サケ科魚類の産卵床調査（次ページ位置図） 9月下旬～10月中旬 |



19号帯工位置図

8. 然別川総合流域防災工事：魚道工(23号帯工)

産卵床調査地点



8. 然別川総合流域防災工事：魚道工(23号帯工)

化石林についての対応

- * とかち鹿追ジオパークと打合せを行っています。
- * 掘削の際に化石林が発見された場合は、一時保管のうえ、ジオパークに連絡して対応策を協議します。



令和元年度施工時のジオパーク担当者による化石林確認状況(この後持ち帰り)